

本市では、男女共に働きやすい職場環境づくりなどを積極的に行う中小企業を認証しています。

このコーナーでは、認証企業にスポットをあて、その取り組みをご紹介します。

福島市働く女性応援認証企業 ファイル (Vol. 4)



▲女性も活躍する会社です。

タカラ印刷(株)は印刷に限らず、デザインや紙を小さく折る加工も得意としています。社員の半数以上を女性が占め、営業はもちろん印刷機や折機のオペレーター、経営幹部としても女性の存在がとても大きい事業所です。

「善く生きる」ことを経営方針に宿し仕事と環境の質を改善し続けることで、性別の分け隔てなく人材が集まる会社として近年実を結び始めています。

誰もが笑顔になれる会社を目指しています！

タカラ印刷株式会社



【会社概要】

所在地：福島市渡利
代表者：代表取締役 林 善克
設立：昭和29年5月
資本金：1,300万円
社員数：55人
採用実績：令和3年度3人
(うち女性2人)
主要製品：印刷、デザイン、企画、
偽造防止用紙、ミニ折、
医薬品・医療機器添付文書
連絡先：☎526-4303



ホームページはこちら▶

■問／産業雇用政策課 ☎515-7746

クローズアップ — タカラ印刷のここがステキ！ —

女性はもちろん、誰もが働きやすい職場づくりのため、社員の幸せを広げるためにさまざまな取り組みを行っています。

🐰 悩みも気軽に相談できる
毎月の個人面談



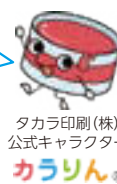
🐰 性別・年齢に関係なく活躍
できます
最年少女性課長も活躍中！



🐰 徹底した5S活動
(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)



その他、時短勤務
や休暇の取得促進
など一人ひとりの
生活に柔軟に寄り
添った働き方を導
入しています！



タカラ印刷(株)
公式キャラクター
かうりん



We Love♥ふくしま！ 第43回「お互いさま」

新型コロナは広範な分野に影響を及ぼし、特に経済基盤の弱いひとり親家庭を直撃しました。

行政では、雇用調整助成金により雇用維持に加え、ひとり親家庭などへの特別給付金や市独自のエールクーポンの支給により支援に努めていますが、それでも食費の切り詰めに迫られる家庭は少なくないと推察されます。

こうした中、食事提供による支援をしているのが「こども食堂」です。しかし、利用者が増加する中、こども食堂も厳しい運営を強いられており、中にはコロナ禍の大打撃を被った飲食店が運営しているところもあります。

こども食堂に対し、市からの支援も行いましたが、それ以上にさまざまな個人・団体からコメなどの食材を提供いただいています。「みんなの食糧庫」として、棚と冷蔵庫を設置し、誰もが食材を提供でき、必要な人なら誰でも持ち帰れる仕組

みを設けているところもあります。

自分自身コロナ禍に翻弄される中、支援を惜しまない行動には、本当に感謝で頭が下がります。

大震災後、被災者が別の被災者を支援する行動が多く、賞賛と敬意を集めました。「お互いさま」として助け合う精神が、コロナ禍でも生かされていることに心が温まります。

その精神に甘えてはいけませんが、それを信じてつなぐ仕掛けはとても大事だと思います。

昨春、マスク不足の中、学校を再開した際には、市民有志に市が材料を提供し、マスクを作成いただいて、児童生徒にマスクを配布しました。仕事が激減したフリーランスには、破格の報酬で市内事業者のために商品開発と改善のお手伝いをさせていただきました。アルバイトの機会を失った学生には、ワクチン予約のサポートをしてもらいました。

市では、果樹剪定枝の処理が負担となっている農家とまきストーブやキャンプ用のまきを必要とする人とのマッチング事業を始めました。剪定枝をまきに活用される方には、体だけでなく、心も温かくなってほしいと思います。

福島市長 木幡 浩

